

令和6年度 学校関係者評価書

学校園名 附属世田谷小学校

1 学校関係者による評価

領 域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	- 子どもが安心して集える学校を目指し、重点課題とした。 今年度は、児童が落ち着いて過ごせることを意識して「思い豊かに考え深くともに生きる子」を目標に、「他者との適切な人間関係を持てて、自分のすべきことができて、周りのことも酌み取れて」を目指してきた。結果として、学習・生活に落ち着いて取り組むことができるようになってきている。今後はこの姿勢が定着するよう指導を重ねてほしい。 - 教員は、互いに尊重し合い、“チーム世小”との意識で協働し目標に向かうよう努めていた。そのことは、児童及び保護者だけでなく、社会全体から信頼され尊敬される教職員につながっている。さらに児童、保護者、社会全体からの信頼を高めていけるよう、協働し教育活動を進めてほしい。 - 今年度、地域の方、学校との連携が評価され、交通安全活動で警察から感謝状をいただいた。このことを契機に、保護者や地域と連携した危機管理体制をさらに充実させてほしい。 - Home・Class・Laboratoryの3つの活動領域での教育課程で、3年が経過した。3つの活動領域が互恵的かつ有益に機能していることについて、考察し、より一層の教育課程の充実に努めてほしい。 また、その成果について保護者、さらには社会に積極的に発信していったほしい。
教育活動	- Home、Class、laboratoryの3つの活動領域での教育課程になり、3年目となった。Homeを活動主体に行事に取り組んでいる。1学期には、入学の会全校遠足、宿泊活動、2学期にはスポーツフェスティバル、Homeフェスティバル、そして3学期には卒業の会と、年間を通してHomeでの異学年での行事や生活を行うことで、お互いの違いを認め、協働する姿勢が育ってきていることを実感する。 保護者が来校し、子どもの成長している姿を見ていただくことはもちろんのこと、全国へもこれまで以上に積極的に発信していくよう努めてほしい。 - 児童の個別の案件に関しては丁寧な対応を心がけ保護者との連絡を密にし、信頼関係の構築により一層努め、児童の健全な育成に努めてほしい。
研究活動	- 学校研究テーマ『「学びを自分でデザインする子」を育む教育課程の創造』について、研究開発学校は昨年度で終了し、今年度は教育課程特例校となり、研究開発学校の指定を受けていない学校でも実施可能な教育課程としていくことを目指した。1月には研究発表会を行い、成果を全国に発信することができた。さらに実践を重ね、より洗練された教育課程とし、それを発信していったほしい。 - 先の見えない現代社会、「学びを自分でデザインする力」は、未来の社会で不可欠な能力であると考える。 - Homeでの異学年活動を通して培われた、お互いに違いを認め、協働する姿をさらに積み重ね、その成果を発信してほしい。 - 保護者のアンケートを一昨年度、昨年度と同じ項目で実施し、今年度の結果について比較を行った。

	先行実施していた Laboratory については、昨年度までも概ね高い評価を受けていると捉えていたが、引き続き高い評価を維持していると捉えている。 一昨年度から実施された Class については、一昨年度は全体の半数程度の保護者が不安や課題を感じていると回答していたが、昨年度はその割合は減少し、「意欲的に学習に取り組んでいる」という回答が全ての学年で80%を超えた。今年度も同様の結果であり、保護者の理解も深まっていると捉えている。 Homeに関しても、一昨年度は全体の半数近くの保護者が不安や課題を感じていると回答し、高学年になるにつれその傾向が高くなっていたが、昨年度はその割合は減少し、特に高学年での減少幅が大きかった。今年度も昨年度とほぼ同様な傾向がみられる。意欲的な取り組みや発見や成果については高学年の評価が高まっており、Homeでの活動の成果が表れ始めていると捉えている。保護者の理解も深まっていると考えられる。 3つの活動領域での教育課程で3年目を迎え、保護者の理解も深まってきていると感じる。不安や課題を感じる声もあり、それらの声に謙虚に耳を傾け、さらなる改善を図ってほしい。 子どもも保護者も、各活動領域で安心して生活できるよう、教員間の情報交換を密にしていくとともに、保護者が安心できるような体制づくりに、今後も努めてほしい。保護者アンケートからも研究に対する期待は大きい。 「次世代教育のモデル校」として、教育課程特例校として、通常の学校でも実施可能な教育課程として取り組みをさらに充実させてほしい。 ・ Laboratoryの活動では外部の人材活用なども積極的に取り入れ、活性化を図ってもらいたい。
学生の教育・支援活動	・ 教育実習では、本校の特色である3つの活動領域での実践を参観することを通して、そこで育つ子どもの姿を観察し、次世代の教育について積極的に取り組もうとする意欲を喚起していきたい。さらにClassの授業の実践を通して子どもとともにつくる教育の実践に努めてほしい。 ・ 教員養成への貢献が教員養成基幹大学附属校の使命であり、未来の人材を育てる教員の資質向上に向けて、引き続き努めてほしい。
社会貢献活動	・ 引き続き、現職教員研修会を実施し、教員研修としての役割を果たしてほしい。 ・ 教育視察の受け入れも行い、本校の実践をさらに発信してほしい。 ・ 地域の小学校とも情報共有しながら、安全な地域環境づくりについて連携して取り組んだ。今後も継続してしてほしい。

2 評価の実施概要

令和6年 4月11日 入学の会参列・今年度の重点目標等の説明

令和6年10月26日 スポーツフェスティバル参観

令和6年12月14日 Homeフェスティバル参観

令和7年 2月15日 藤の実ファミリーデー参観

令和7年 3月22日 卒業の会参列

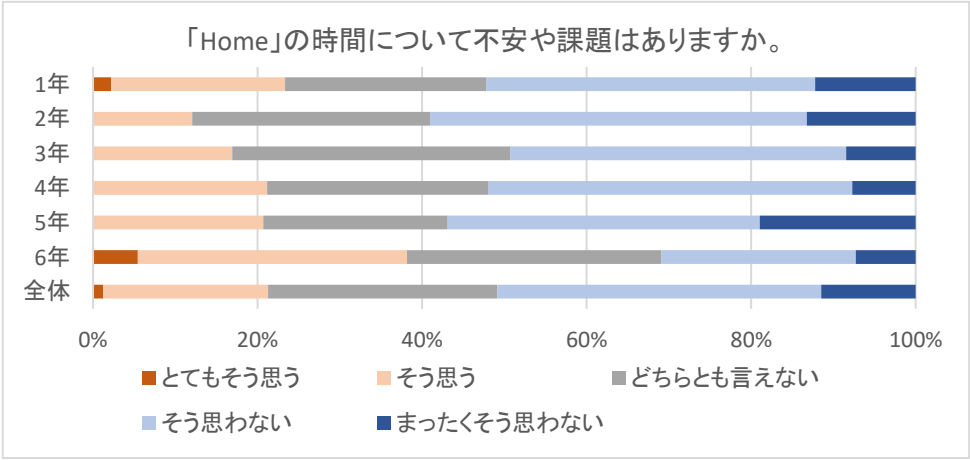
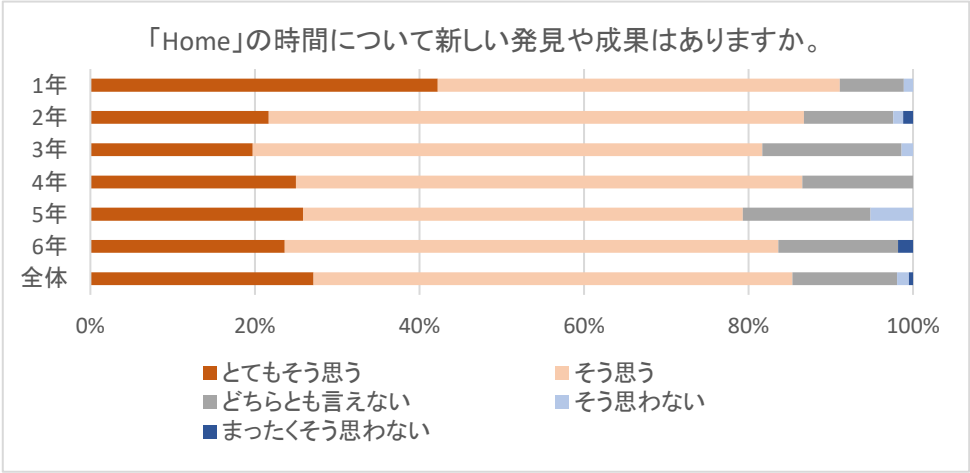
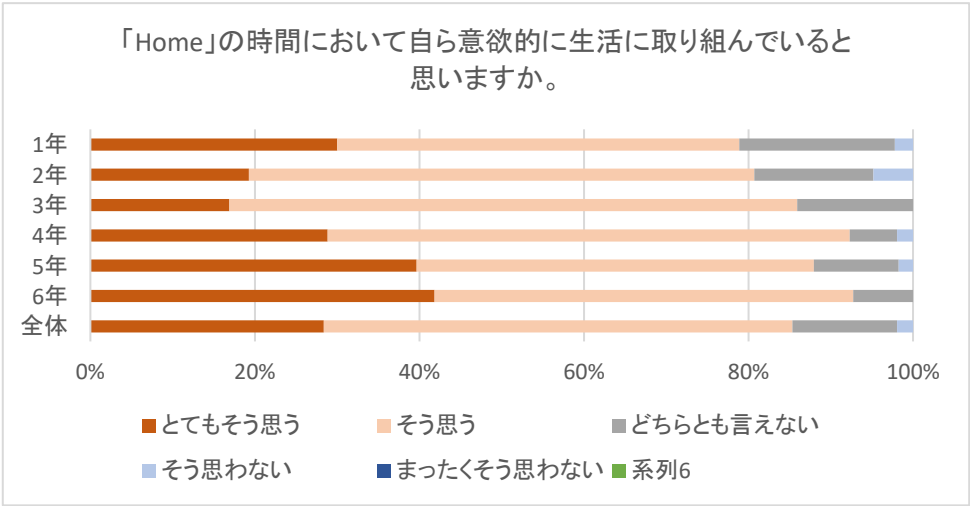
他

令和6年度 保護者による学校生活アンケート実施

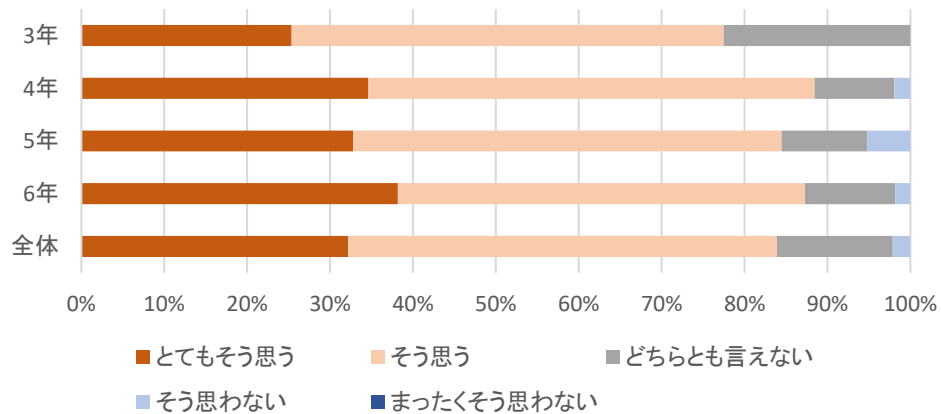
令和6年度 学校評議委員会実施

3 資料〈令和4年度、令和5年度、令和6年度保護者アンケート〉

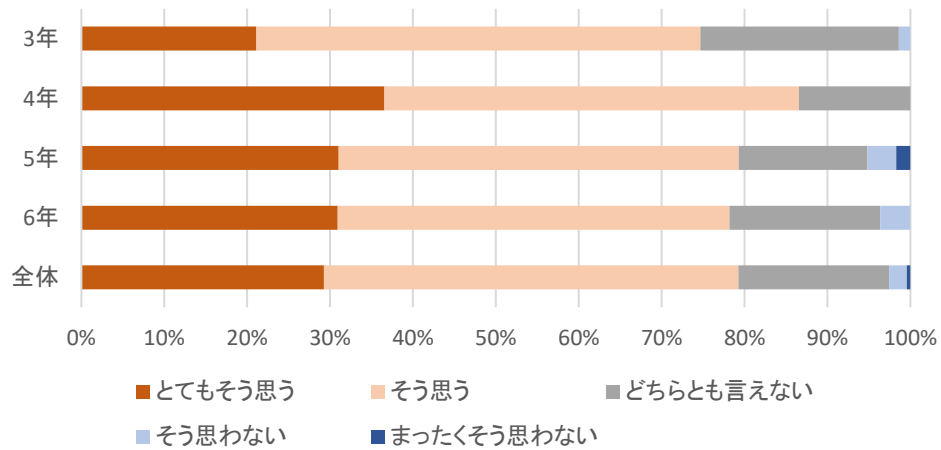
令和6(2024)年度保護者アンケート



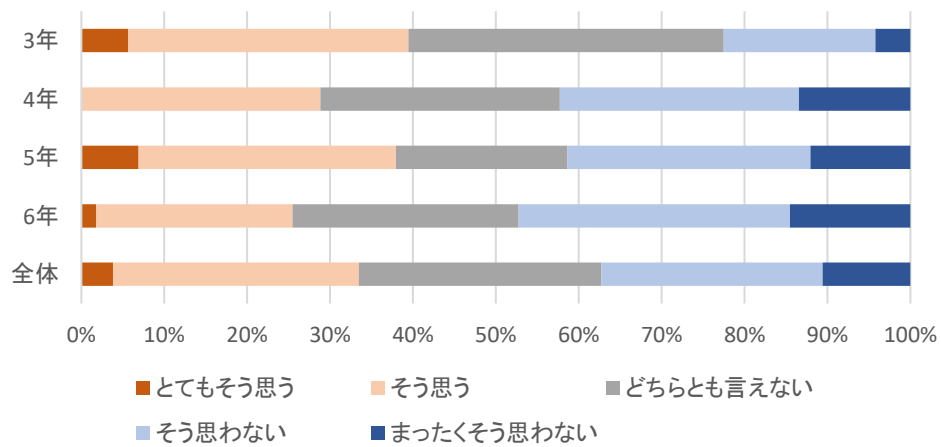
「Laboratory」の時間において自ら意欲的に研究に取り組んでいると思いますか。



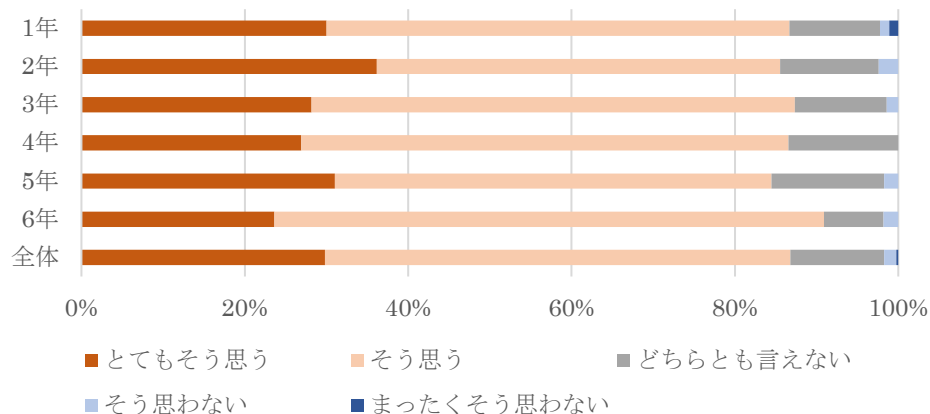
「Laboratory」の時間について新しい発見や成果はありますか。



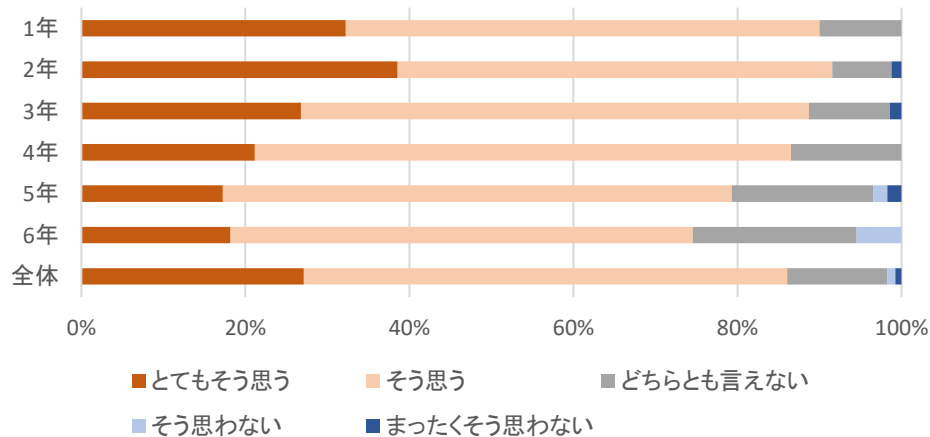
「Laboratory」の時間について不安や課題はありますか。



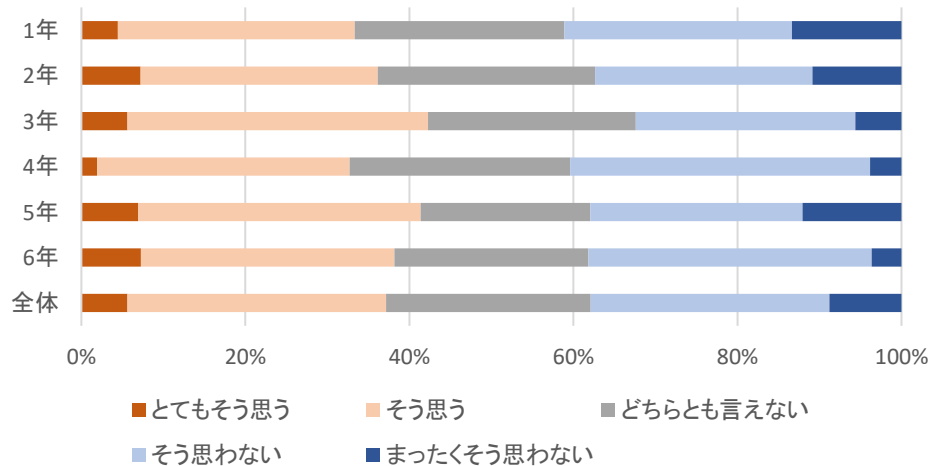
「Class」の時間において自ら意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。



「Class」の時間について新しい発見や成果はありますか。

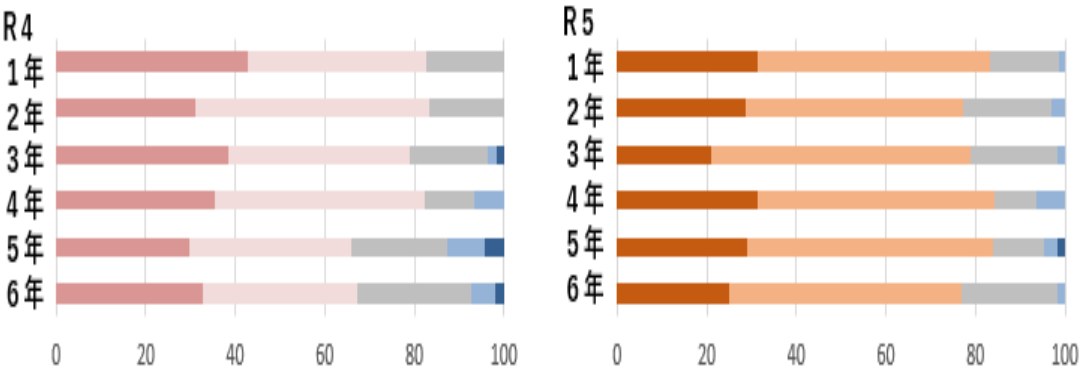


「Class」の時間について不安や課題はありますか。

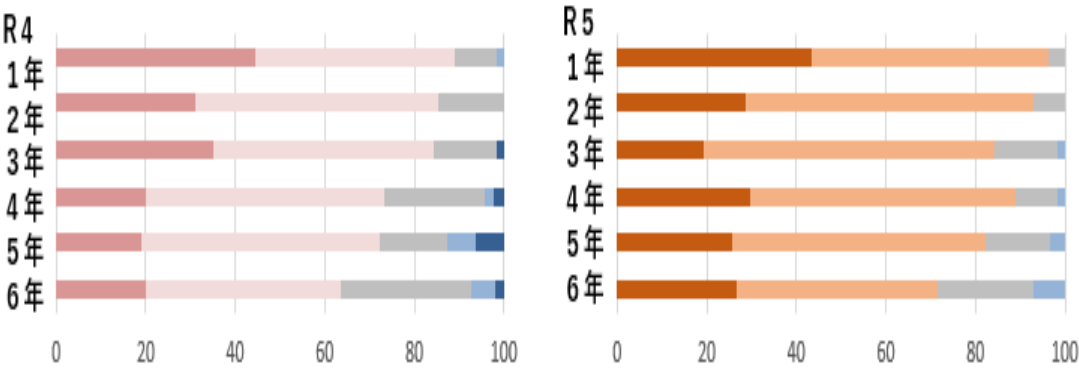


令和 4 (2022) 年度と令和 5 (2023) 年度保護者アンケート比較

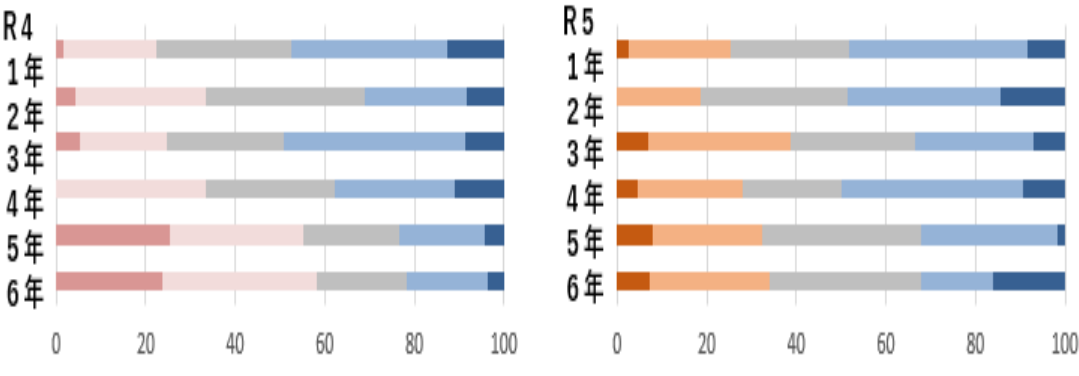
「Home」の時間において自ら意欲的に生活に取り組んでいると思いますか



「Home」の時間について新しい発見や成果はありますか

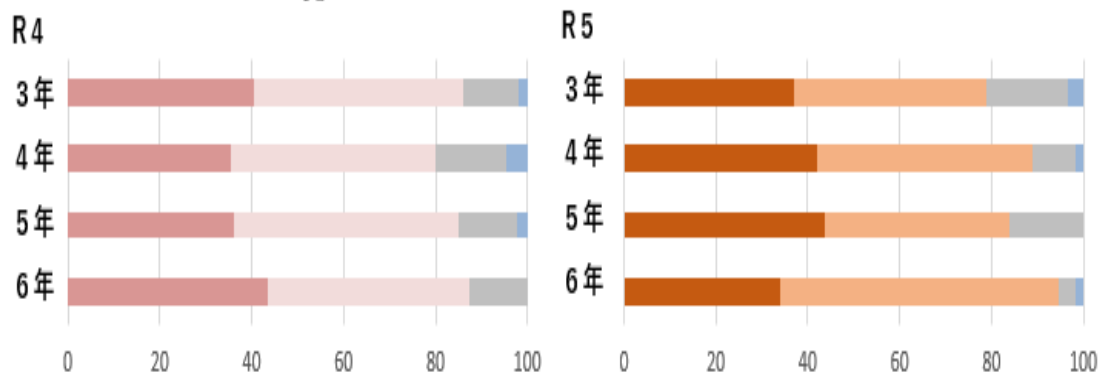


「Home」の時間について不安や課題はありますか

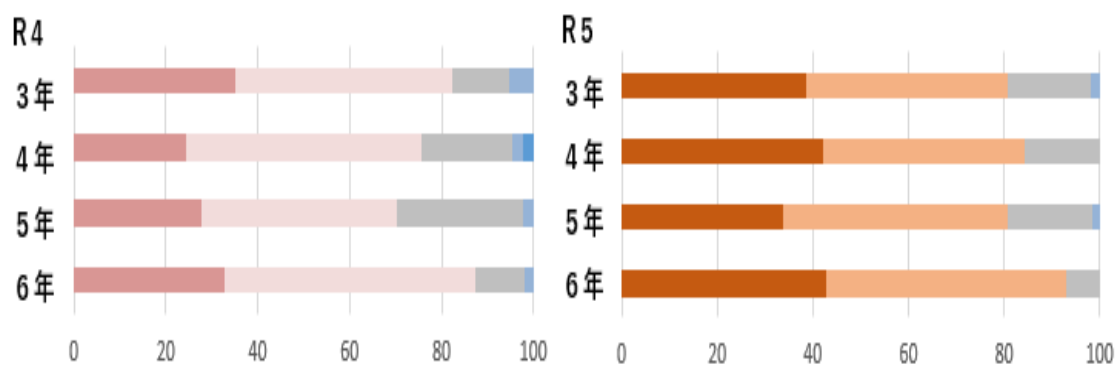


とてもそう思う そう思う どちらとも言えない そう思わない まったくそう思わない

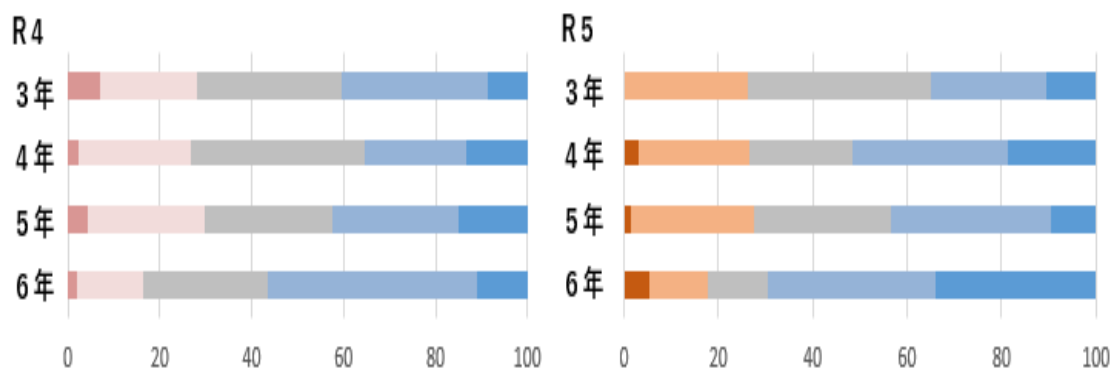
「Laboratory」の時間において自ら意欲的に研究に取り組んでいると思いますか



「Laboratory」の時間について新しい発見や成果はありますか

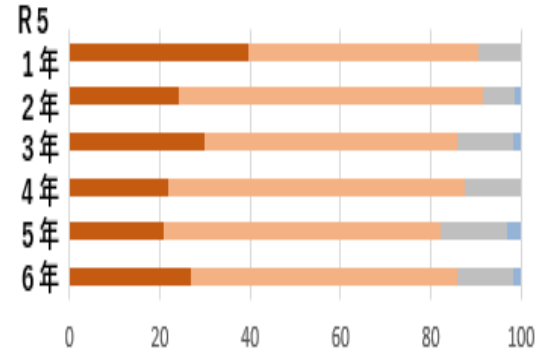
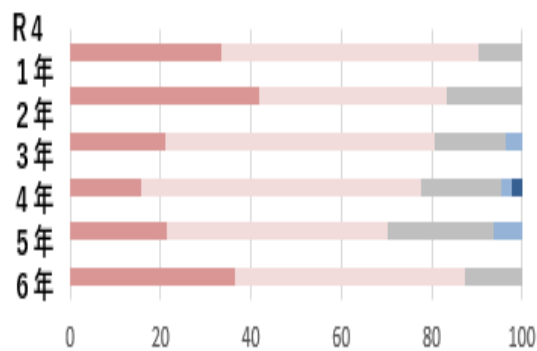


「Laboratory」の時間について不安や課題はありますか

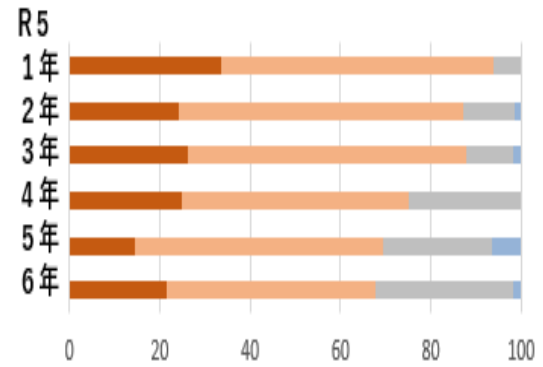
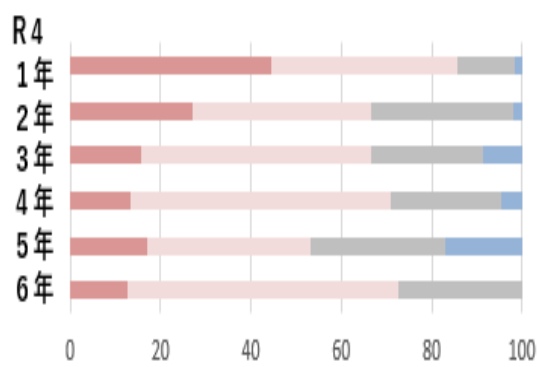


とてもそう思う そう思う どちらとも言えない そう思わない まったくそう思わない

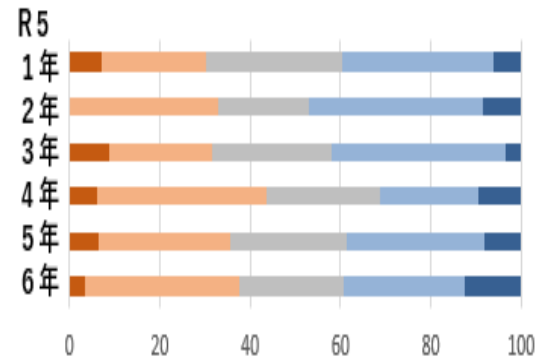
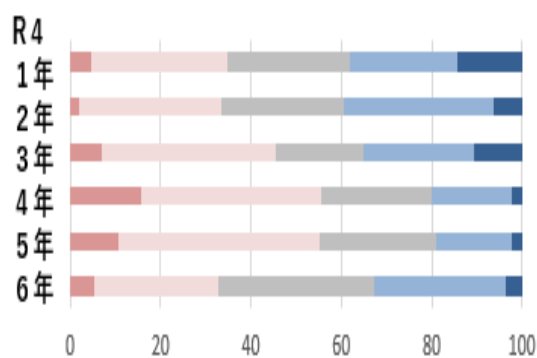
「Class」の時間において自ら意欲的に学習に取り組んでいると思いますか



「Class」の時間について新しい発見や成果はありますか



「Class」の時間について不安や課題はありますか



とてもそう思う そう思う どちらとも言えない そう思わない まったくそう思わない